

|   |             |
|---|-------------|
| 実施日：7月4日(火)、7月11日(火)、9月14日(木)、9月15日(金)  |             |
| 領域：(①教科( )、②道徳(特別の教科 道徳)、③特別活動、④総合的な学習の時間)  |             |
| 取組名：障害者理解   |             |
| 対象：中学1年生  | 実施場所：体育館、教室 |
| <p>ア ねらい</p> <p>①一小一中の環境で固定された人間関係から視野を広げさせることで、自分とは置かれた環境や考えなどが異なる人を受け入れ、その人の立場になって考えられるようにする。</p> <p>②他者を思いやる気持ちをもつことは豊かな人間関係を築くことにつながり、人権が尊重される社会の実現の礎であることに気付かせる。</p>   |             |
| <p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <p>①酒井雅和先生の講演会やアイマスク体験に向けて、関連する内容項目の道徳教材を用いて授業を行う。</p> <p>資料：『私の話を聞いてね』内容項目：【相互理解、寛容】<br/>資料：『父の言葉』内容項目：【思いやり、感謝】</p> <p>②事前学習として酒井雅和先生についてビデオ学習を行う。</p> <p>資料：ビデオ『見えないを生きる』(7月4日)</p> <p>③アイマスク体験をする。(7月11日)</p> <p>④酒井雅和先生の講演会を聞き、生活サポートを体験する。(9月14日)</p> <p>⑤これまでの学習を通して障害者に対してどのような気付きがあったかを振り返る。また、差別を受けていたり、課題を抱えていたりする人たちが暮らしやすい社会にするには、私たちがどうすることが大切なのかを考える。(9月15日)</p> |             |
| ウ 連携先：社会福祉協議会(アイマスク体験)  |             |
| <p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前打合せ</li> <li>①話していただく内容について…障害者への声かけや接し方について</li> <li>②アイマスク体験のコースについて…実際に視覚障害者が歩行や生活が困難だと感じる場所の設定</li> </ul>  |             |
| <p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の教師全員で道徳と総合の授業を系統立てて行えるよう打合せをした。</li> </ul>   |             |
| <p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(感想文)、ふり返りシートの点検、評価</li> </ul>   |             |
| <p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にアイマスク体験をしたり、酒井先生と話をしたりすることで、自分事として障害者理解に努めることができた。</li> <li>・課題を抱えて生活する人が暮らしやすい社会について、多角的な視点から柔軟な発想で話すことができた。</li> </ul>   |             |
| <p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者理解に努めることはできたが、学校生活において自分とは異なる立場の同級生に対して実際にサポートをする場面はなかなか見られない。頭で理解はできたが、行動に移すことが難しい様子である。</li> </ul>   |             |

※ 学習指導案、人権教育資料やその指導例、児童・生徒・参加者等の感想や活動写真、アンケート結果等、参考となる資料を添付願います。